

2025 年 6 月 30 日

ご契約者 各位

東京電力パワーグリッド株式会社  
ネットワークサービスセンター

分割接続供給の導入に伴う自己託送／小売供給（みなし分割接続供給）の扱いについて

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、弊社事業に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、分割接続供給の導入（2024 年 10 月 1 日より託送供給等約款を変更）および部分供給に関する指針の廃止に伴い、1 需要場所において、自己等への電気の供給（以下「自己託送」といいます。）および小売供給（ただし、需要者の発電設備の検査、補修または事故〔停電による停止等を含みます。〕により生じた不足電力の補給にあてるための電気のみを供給する場合の小売供給を除きます。）を行うための接続供給（以下「みなし分割接続供給」といいます。）について、下記のとおりお知らせいたします。

敬 具

## 記

### 1. 自己託送／小売供給（みなし分割接続供給）のお申込みについて

「接続供給兼基本契約申込書（分割接続供給用）記入例」をご参照いただき、事業者さま間で協議のうえ「接続供給兼基本契約申込書（分割接続供給用）」のご提出をお願いいたします。

提 出 先：ネットワークサービスセンター高圧受付グループ

※各ご契約者さまがお申込みいただいているメールアドレスへ送付下さい

留意事項：

- ・新規加入の場合は、接続供給開始希望日の暦日 6 週間前までの提出をお願いいたします。
- ・既存契約の自己託送／小売供給（部分供給形態）から自己託送／小売供給（みなし分割接続供給）へ移行の場合は、接続供給開始希望日の暦日 4 週間前までの提出をお願いいたします。
- ・接続供給開始希望日は、計量日付けにてお願いいたします。
- ・申込書を提出後、すみやかに協定書の締結手続きをさせていただきます。

## 2. 協定書について

自己託送／小売供給（みなし分割接続供給）の供給条件は、託送供給等約款の分割接続供給に準じるものといたしますが、その他の供給条件は、「みなし分割接続供給の供給条件に関する協定書」に規定いたします。

なお、「みなし分割接続供給の供給条件に関する協定書」は、下表のとおり事業者さまの組み合わせ毎に1通※締結いたします。

また、既存契約の自己託送／小売供給（部分供給形態）から自己託送／小売供給（みなし分割接続供給）へ移行した供給地点については、「自己託送の運用に関する協定書」を失効させていただきます。

※自己託送事業者さまのご契約が、高圧従量接続送電サービスまたは特別高圧従量接続送電サービスの場合と、それ以外の場合で供給条件が異なるため、ご契約内容に応じて2種類の協定書を締結させていただく場合がございます。

### 【協定書の締結単位】

	【従来】自己託送の運用に関する協定書	【新規】みなし分割接続供給の供給条件に関する協定書
協定書締結単位	供給地点毎 (例) A地点：1通 B地点：1通	事業者組み合わせ毎 (例) A事業者・B事業者：1通 A事業者・C事業者：1通

## 3. 流通費用調整先について

自己託送／小売供給（みなし分割接続供給）における流通費用調整先の事業者さまについては、託送供給等約款の分割接続供給に準じて、供給形態が「需要追随＋非需要追随」の場合は「非需要追随供給者」、「需要追随＋需要追随（時間分割型）」の場合は「事業者さま間の協議により決定」となります。

## 4. 各種帳票類の表示

各種帳票類の表示につきましては、弊社システムの改修により、以下のとおり分割接続供給に応じた表示に変更いたします。

・「日程等別料金」等計算内訳（流通費用調整額）“契約形態”の記載内容

弊社システム改修前までの名称 (2025年6月27日まで)	弊社システム改修後の名称 (2025年6月28日より)
横切り型	需要追随＋非需要追随
通告型	
縦切り型	需要追随＋需要追随

- ・供給地点明細表（G L リスト）“その他特記事項”の記載内容

弊社システム改修前までの名称 (2025 年 6 月分まで)	弊社システム改修後の名称 (2025 年 7 月分より)
需要場所における電気の需給については、「自己託送の運用に関する協定書」によります。	分割接続供給

## 5. 従来の自己託送／小売供給（部分供給形態）のご契約を希望する場合

### (1) 自己託送／小売供給（部分供給形態）のお申込みについて

従来の「接続供給兼基本契約申込書」のご提出をお願いいたします。

### (2) 協定書について

「自己託送の運用に関する協定書」を供給地点毎に締結いたします。

### (3) 流通費用調整先について

事業者さま間の協議により決定いただきます。

### (4) 各種帳票類の表示

- ・「日程等別料金」等計算内訳（流通費用調整額）“契約形態”の記載内容

前述「4. 各種帳票類の表示」のとおりとなることから、読み替えをお願いいたします。

- ・供給地点明細表（G L リスト）“その他特記事項”の記載内容

『需要場所における電気の需給については、「自己託送の運用に関する協定書」によります。』を表示いたします。

## 【参考】分割接続供給の導入および部分供給の廃止

### (1) 分割接続供給の導入

分割接続供給とは、当面の対策として措置されてきた部分供給とは別に、需要者が一の需要場所において、1 引込み・1 計量により異なる 2 者の小売電気事業者から供給を行なうことをいいます。

#### <分割供給の導入時における基本的な仕組み>

	需要追従＋非需要追従	需要追従＋需要追従 (時間分割型)
供給形態		
概要	一方の分割供給者が需要追従を行わず、一定量の電力供給を行い、もう一方が需要追従供給を行う供給形態	一方の分割供給者が一部の時間帯に需要追従供給を行い、もう一方がそれ以外の時間帯に需要追従供給を行う供給形態
分割供給者数	2 者	
分割供給者の組み合わせ	全ての小売電気事業者による組み合わせが可能	
電圧区分	高圧・特別高圧（離島・LR 除く）	
需要インバランス（不足）の負担者	需要追従側	分割供給者間の協議により決定
流通費用調整額の調整先	非需要追従側	分割供給者間の協議により決定

（出典）第 78 回 総合資源エネルギー調査会 電力・ガス事業分科会 電力・ガス基本政策小委員会

資料 5 分割接続供給の導入に係る対応について

（２）部分供給の廃止

部分供給は、東日本大震災の影響による電力需給の逼迫を受けて、新電力が保有する発電設備の有効活用が求められる中、十分な供給力を持たない新電力の電源確保と参入促進の観点から、卸電力市場が機能するまでの当面の対策と位置づけた上で、旧一般電気事業者に対応を求めることとし 2013 年に制度化されました。

この度、国の審議会※において部分供給の既存契約については、2025 年 7 月 1 日までに分割接続供給に移行する整理がなされました。

※総合資源エネルギー調査会電力・ガス事業分科会電力・ガス基本政策小委員会

（３）部分供給と分割接続供給の主な違い

部分供給は、旧一般電気事業者に対応することを求めた例外的な措置のため、供給者には旧一般電気事業者が含まれることとなっておりましたが、分割接続供給は、競争活性化を図る等の観点から全ての小売電気事業者による組み合わせが可能となりました。

また、以下のとおり主な名称の変更をお示しさせていただきます。

（部分供給での使用名称）	（分割接続供給での使用名称）
横切り型部分供給	需要追随＋非需要追随（固定型）
通告型部分供給	需要追随＋非需要追随（変動型）
縦切り型部分供給	需要追随＋需要追随（時間分割型）
ベース供給側	非需要追随
負荷追随供給側	需要追随

以 上

【お問い合わせ先】

東京電力パワーグリッド株式会社  
ネットワークサービスセンター  
高圧受付グループ  
電 話：03-3509-1709（代表）  
アナウンス後「1→2」を選択  
受付時間：9:00～17:00  
（土日休祝日，年末年始を除く）